資料4-1

※H29年度評価書案(H29.6.30時点)、H28年度事前分析表(H28.12.27最終更新)、H29年度レビューシート中間公表版(H29.6.29時点)から引用

-般戦災死没者追悼等の事業の推進 政策16 -般戦災死没者に対して追悼の意を表す事務等を実施すること 政策の概要 |先の大戦に係る特定の課題に対する適切な対応がなされること 最終アウトカム 中間アウトカム -般戦災死没者への追悼の意を表すほか、兵士、戦後強制抑留者及び海外からの引揚者の労苦(以下、「関係者の労苦」)についての幅広い世代の理解をより一層深める等の対応が適切になされること 施策日標 ー般戦災死没者に対して追悼の意を表すため、一般戦災死没者の慰需事業を確実に実施すること 施策手段 測定指標 施策手段/ ①戦災に関する展示会の実施 戦災に関する展示会の来場者数 測定指標 ②一般戦災死没者の慰霊事業の実施 -般戦災死没者の慰霊事業の実施 当該施策目標について、全ての測定指標で目標が達成された。 政策の分析(達 ・測定指標1については、広報活動の強化(開催地の愛媛県庁及び松山市役所や行政評価事務所への協力依頼等)に伴い、目標値を大きく上回る実績を計上できた。 成・未達成に関 する要因分析) ・測定指標2についても、都道府県等からの推薦を踏まえ、推薦された一般戦災死没者遺族代表への旅費支給等を適正に行い、慰霊事業を確実に実施したため、目標を達成することができた。 -般戦災死没者の慰霊事業経費(事業番号0140) 【事業概要】 |政府主催の全国戦没者追悼式等への一般戦災死没者遺族代表参列旅費の支給等の実施。※平成26年度まで、上記の事業のほか、先の大戦における一般戦災死没者の追悼に関する調査や展示会を実施。戦災 |に関する展示会については、戦災遺族会のある戦災都市を一巡したことから終了。また、調査についても全国の追悼式、追悼施設の調査を終えたことから終了。 主要な測定指標 【本事業の成果と上位施策・測定指標との関係】 に関連する達成 政府主催の全国戦没者追悼式等への一般戦災死没者遺族代表参列旅費の支給等により、一般戦災死没者の慰霊事業の一助を担うことで、一般戦災死没者等に対して追悼の意を表わすことに寄与する。 手段 【点検結果】 -般戦災死没者遺族代表参列旅費の支給等は円滑に実施されている。 【改善の方向性】 −般戦災死没者に対して追悼の意を表すため、−般戦災死没者の慰霊事業を引き続き円滑に実施する。 旧独立行政法人平和祈念事業特別基金から承継した兵士、戦後強制抑留者及び引揚者の方々の労苦に関する貴重な所蔵資料を後の世代に確実に引き継いでいくこと及びこれに併せて所蔵資料を展示し、当該労苦につい 施策目標 て国民の理解を深める機会を提供すること 施策手段 測定指標 施策手段/ ③所蔵資料の総合的な目録の作成 所蔵資料の総合的な目録の作成 測定指標 ④平和祈念展示資料館における資料等の展示 平和祈念展示資料館の来館者数 当該施策目標について、全ての測定指標で目標が達成された。 ・測定指標3については、有識者(専門家)で構成される検討委員会で所蔵資料の適切な分類の仕方等について有識者(専門家)の意見等を聴取しながら作業を進めた。平成26年度には28年度までの方針を策定、 政策の分析(達 27年度には目録に掲載する項目等を整理し、28年度には1点ずつ資料を確認しながら目録を完成させており、当初の目標を達成することができた。 成・未達成に関 ・測定指標4については、語り部によるお話し会などの実施、各種媒体による広報、メルマガ及びツイッター等による情報発信、団体見学誘致のための学校等に対する来館促進等を実施したことにより、各年度とも する要因分析) 目標値を上回ることができた。特に平成26年度はリニューアルに伴う閉館期間を考慮して目標を設定したが、閉館期間を短縮できたこと、効果的な広報を実施したことなどの運営努力により、大きく目標を上回ること ができた。 平和祈念展示等経費(事業番号0141) |旧独立行政法人平和祈念事業特別基金から引き継いだ資料の整理、保管及び活用を行う。 【本事業の成果と上位施策・測定指標との関係】 主要な測定指標 旧独立行政法人平和祈念事業特別基金から引き継いだ兵士、戦後強制抑留者及び引揚者の方々の労苦に関する貴重な所蔵資料を後の世代に確実に引き継いでいくとともに、民間委託により平和祈念展示資料 に関連する達成 館を運営し、所蔵資料を効果的に展示等することで、当該労苦について国民の理解を深めることに寄与する。 手段 【点検結果】 |旧独立行政法人平和祈念事業特別基金から引き継いだ資料について、適切に保管及び活用を行っており、平和祈念展示資料館の来館者数についても当初見込み人数を達成している。 【【改善の方向性】 平和祈念展示資料館の来館者数について、展示方法及び広報の工夫等を行い、来館者数5万人を達成することに努める。

モニタリング

主要な政策に係る政策評価の事前分析表(平成28年度実施政策)

(総務省28一億)

政策 ^(※1) 名	政策	[16:一般戦災死没者追悼等の事	業の推進									作成責任者名	大臣官房総務課管理室長 稲垣 好展
政策の概要	一般	戦災死没者に対して追悼の意を	表す事務等を実施する	ること					担当部局課室名	大臣官房総務課管理	里室	分野【政策体 系上の位置付 け】	国民生活と安心・安全
基本目標【達成すべき目標及び目標 設定の考え方・根拠】	の実)大戦における空襲等により多くの 態態調査等に関する基本的な方針 貴重な所蔵資料を後の世代に確	ト(平成23年8月閣議決	定)等を踏	まえ、旧独立行政法と	人平和祈念	事業特別基金	をから承継し	した兵士、戦後強制抑留	者及び引揚者の方々の労		政策評価実施 予定時期	平成29年8月
		測定指標							年度ごとの目標(値)				
施策目標		字に〇を付した測定指標は、主	基準(値)		目標(値)				年度ごとの実績(値)	(※2)			策目標と測定指標の関係性(因身 ・目標年度)の設定の根拠
	要な	測定指標)		基準年度		目標年度	26年	度	27年度	28年度			
							1, 200	0名			に関する 指標とし 年度の来	る国民の理解を深 して設定(平成20 を場者数を基準と	来場は、一般戦災死没者の追 [†] めることにつながることから、 ~25年度の実績から推計した2 して目標値を設定)。
	1	戦災に関する展示会の来場者 数 《アウトプット指標》	1,222名 (20~25年度実績 から推計)	25年度	1, 200名	26年度					平成20年 平成22年 平成24年 ※24年度	F度:1,197名 ュ F度:3,117名 ュ ほは、開催地を舞	『成21年度:1,013名 『成23年度:1,271名 『成25年度:1,102名 台とした戦災を取り上げた映圓
一般戦災死没者に対して追悼の意 を表すため、一般戦災死没者の慰 霊事業を確実に実施すること							2, 67	1名			こと、戦災のるため、26年度	5り、前年度比約 けから除外。 に関する展示会は 5戦災都市を一巡 り、当該年度をも ほは、広報活動の	する興味・関心が高まっていた 2. 5倍という実績を示したた 、平成26年度をもって戦災遺肪 し、一定の成果を挙げることと って終了。 強化(行政評価事務所への協力 を大きく上回る実績を計上。
		飢業巛エルネの財産事業の	án we w Trib iz o		films 《Tintan				一般戦災死没者の慰 霊事業の確実な実施	一般戦災死没者の慰 霊事業の確実な実施	たことに 追悼式に 等) の確	に鑑み、一般戦災 に参列する一般戦 進実な実施は、一	により多くの方々が亡くなられ 死没者の慰霊事業(全国戦没者 災死没者遺族代表の旅費支給 般戦災死没者に対して追悼の ことから、指標として設定。
	2	一般戦災死没者の慰霊事業の 実施 〈アウトプット指標〉	一般戦災死没者の 慰霊事業の確実な 実施	26年度	一般戦災死没者の慰霊事業の確実な実施	28年度			一般戦災死没者の慰 霊事業(全国戦没者 追悼式に参列する一 般戦災死没者遺族代 表の旅費支給等)に ついて確実に実施	_	数】 平成23年 平成25年 平成27年	F度:219名 平成 F度:189名 平成 F度:208名	
旧独立行政法人平和祈念事業特別 基金から承継した兵士、戦後強制 抑留者及び引揚者の方々の労苦に	3	所蔵資料の総合的な目録の作	所蔵資料の保管・	25年度	所蔵資料の総合的	28年度	所蔵資料の約 目録の作成(方針の策定		平成26年度に策定し た方針を踏まえ、所 蔵資料の総合的な目 録に掲載する項目を 決定	所蔵資料の総合的な 目録の完成	に関する 料の総合	る貴重な所蔵資料 合的な目録の作成	事業特別基金から関係者の労きを承継したことに鑑み、当該資 は、当該資料を後の世代に確写 つながることから、指標として
関する貴重な所蔵資料を後の世代 に確実に引き継いでいくこと及び これに併せて所蔵資料を展示し、 当該労苦について国民の理解を深 める機会を提供すること	<u> </u>	X <アウトプット指標>	展示	₩₩₩	な目録の完成	20十尺	所蔵資料の紹 目録の作成1 方針(平成2 での計画)(に向けた 28年度ま	所蔵資料の総合的な 目録に掲載する項目 を決定	_	※平成20アリンク27年度に	ずを行い、目録に	方針を踏まえ、更に有識者に 掲載する項目については、平原 したことから、同年度の目標を る。

		平和祈念展示資料館の来館者 数 <アウトプット指標>	51, 308名	25年度	50,000全	3以上	28年度		000名以上	50,000名以上	50,000名以上	平和祈念展示資料館への来館は、兵及び引揚者の方々の労苦について進せすることから、近え、指標として設定。 【参考:過去の来館者数】 平成23年度:59,302名 平成24年度 平成25年度:51,308名 ※平成26年度については、目標40.0 設展示のリニューアルに伴う閉館期たことなどから、来館者数は44,147 77年度及び平成28年度については、実館者数の目標を50,000名以上とし	解を深める機会を踏ま 年の来館者数を整踏ま : 54, 132名 00名以下はりが、同間がとなりが、同様となりが、同様によりが、同様に成びに関係していた。
	達成手段			予算額((執行額) ^{(※}	3)		関連す					平成28年度行政事
	(開始年度)		26年度	274	年度	28年	F度	る 指標 (※4)			達成手段の概要等		業レビュー事業番号
(1)	引揚者特別交付金支給事務費(昭和42年度)	6百万円 (4百万円)		(万円 (万円)	4百	万円	_	交付。 【成果指標(アウ・引揚者特別交・(代替指標)の ・(代替指標(アウ・)引揚者特別交が 引揚者特別交が 【施策目標等の 引揚者特別交	7トカム)】 付金支給事務費の円滑 道府県の提出書類の種 7トプット)】 寸金の認定事務費等(引 達成又は測定指標の推 行金の認定事務費等を	な交付 類 揚者特別交付金関係書 移に対する寄与の内容 都道府県に交付すること	類の維持管理費を含む。)を都道府県に類の維持管理費を含む。)の交付件数] とにより(法定受託事務)、都道府県を通外財産問題の解決に寄与する。	0133
(2)	旧日本赤十字社救護看護婦等処	心遇経費(昭和54年度)	159百万円 (156百万円)		5万円 5万円)	124百	ī万円	_	応じて を は 成果 が対す。 に が対す。 に が対す。 に が対す。 に が対す。 に が対す。 に が対す。 に が対す。 に が対す。 に が対す。 に が対す。 に がいかが、 に がいかが、 に がいが、 に がいが、 に がいが、 に に がいが、 に に がいが、 に に がいが、 に に がいが、 に に がいが、 に に がいが、 に に がいが、 に に がいが、 に に がいが、 に に がいが、 に に がいが、 に に がいが、 に に がいが、 に がいが、 に がいが、 に がいが、 に がいが、 に がいが、 に がいが、 に がいが、 に がいが、 に がいが、 に がいが、 に がいが、 に がいが、 に がいが、 に がいが、 に に がいが、 に に がいが、 に に がいが、 に に に に に に に に に に に に に	「金(3年以上の戦地勤系の支給を行っている。 フトカム)】 円滑な支給 賃額・給付金確定額 フトブット)】 支給件数 達成又は測定指標の推 給事務を行う日本赤十:	条期間があって、恩給と「 「 「移に対する寄与の内容 字社に補助金を交付する	て勤務された方々に対し、勤務期間に 司様の加算年を加えて12年以上に達す	0134
(3)	不発弾等処理交付金(昭和48年	度)	114百万円 (1百万円)		ī万円 ī万円)	40百	万円	_	るものについて 【成果指導等標(処理 ・代替替標(処理 大代替特標(の 大代替特標(の 大活動指標(アウ 大活動指標(アウ 大変) 「一、 大変) に 大変) に 大変) に 大変) に 大変) に 大変) に 大変) に 大変) に 大変) に 大変) に 大変) に た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。	は内閣府が所管)。 フトカム)】 交付金の円滑な交付 算額-交付金確定額 フトプット)】 数(交付金に関する問合) 達成又は測定指標の推 の探査を実施する地方	せ件数) 移に対する寄与の内容 次共団体を対象に、当記 閣府が所管)、地方公共	核経費の2分の1の交付金を交付すること ○団体の財政負担を軽減し、その処理を	0135

(4)	一般戦災死没者の慰霊事業経費(昭和52年度)	23百万円 (22百万円)	7百万円 (6.4百万円)	6百万円	1,2	政府主催の全国戦没者追悼式等への一般戦災死没者遺族代表参列旅費の支給等の実施。 ※平成26年度まで、上記の事業のほか、先の大戦における一般戦災死没者の追悼に関する調査や展 示会を実施。戦災に関する展示会については、戦災遺族会のある戦災都市を一巡したことから終了。また、調査についても全国の追悼式、追悼施設の調査を終えたことから終了。 【成果指標(アウトカム)】 ・一般戦災死没者の慰霊事業の確実な実施・(代替指標)依頼都道府県数 【活動指標(アウトブット】】 全国戦没者追悼式等への一般戦災死没者遺族代表参列者数 【施策目標等の達成又は測定指標の推移に対する寄与の内容】 政府主催の全国戦没者追悼式等への一般戦災死没者遺族代表参列旅費の支給等により、一般戦災死没者の慰霊事業の一助を担うことで、一般戦災死没者等に対して追悼の意を表わすことに寄与する。	
(5)	平和祈念展示等経費(平成22年度)	370百万円 (364百万円)	356百万円 (352百万円)	353百万円	3,4	旧独立行政法人平和祈念事業特別基金から引き継いだ資料の整理、保管及び活用を行う。 【成果指標(アウトカム)】 ・旧独立行政法人平和祈念事業特別基金から承継した兵士、戦後強制抑留者及び引揚者の方々の労苦に関する貴重な所蔵資料を後の世代に確実に引き継いでいくための総合的な目録の作成、当該労苦について国民の理解を深める機会を提供するための効果的な展示等の実施・(代替指標)平和祈念展示資料館の来館者数:50,000人(平成28年度) 【活動指標(アウトブット)】 平和祈念展示資料館の来館者数:50,000人(平成28年度) 【施策目標等の達成又は測定指標の推移に対する寄与の内容】 旧独立行政法人平和祈念事業特別基金から引き継いだに兵士、戦後強制抑留者及び引揚者の方々の労苦に関する貴重な所蔵資料を後の世代に確実に引き継いでいくとともに、民間委託により平和祈念展示資料館を運営し、所蔵資料を後の世代に確実に引き継いでいくとともに、民間委託により平和祈念展示資料館を運営し、所蔵資料を後の世代に確実に引き継いでいくとともに、民間委託により平和祈念展示資料館を運営し、所蔵資料を効果的に展示等することで、当該労苦について国民の理解を深めることに寄与する。	
	引揚者等に対する特別交付金の支給に関する法律 (昭和42年)	-	-	_	-	引揚者及びその遺族並びに引揚前死亡者の遺族に対する特別交付金の支給に関し必要な事項を規定する。	
	政策の予算額·執行額	678百万円 (548百万円)	562百万円 (497百万円)	528百万円	重要政	(に関係する内閣の 政策(施政方針演 のうち主なもの)	

^{※1} 政策とは、「目標管理型の政策評価の実施に関するガイドライン」(平成25年12月20日政策評価各府省連絡会議了承)に基づく別紙1の様式における施策に該当するものである。

^{※2 「}年度ごとの実績(値)」欄のかっこ書きの年度は、その測定指標の直近の実績(値)の年度を示している。

^{※3} 前年度繰越し、翌年度繰越しの他、移流用増減、予備費での措置等を含む。

^{※4} 測定指標は施策目標の達成状況が端的に分かる指標を選定しており、必ずしも達成手段と関連しないため「一」となることがある。

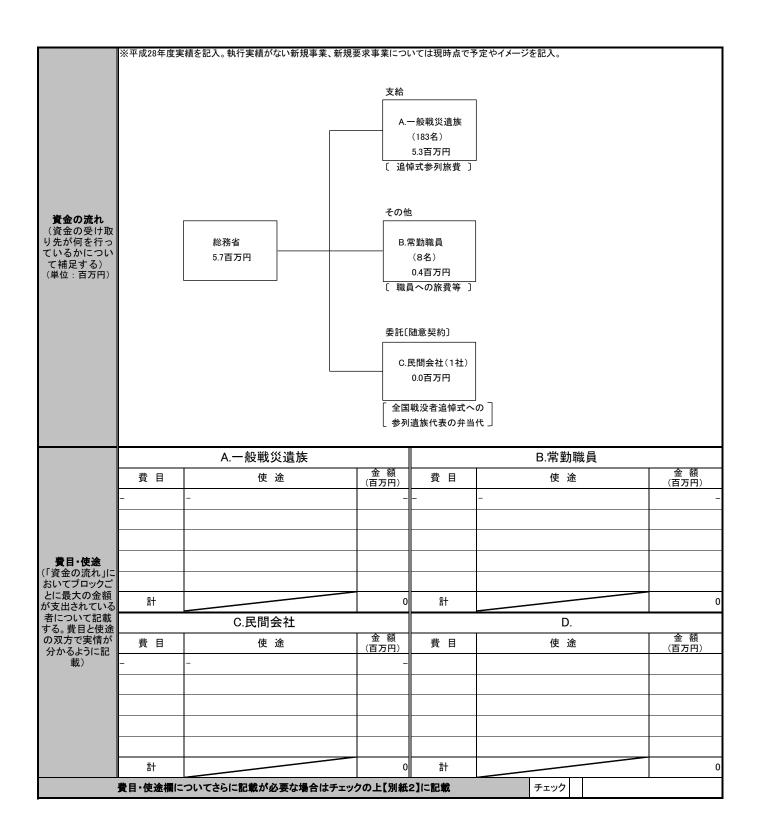
事業番号

0140

								争耒奋兮	014	U
			<u> </u>	<u> </u>	F度行政	事業レビ <i>=</i>	∟ーシート(総系	務省)
事業名	一般戦	災死没者の慰霊	事業経費			担当部局庁	大臣官房		作月	責任者
事業開始年度	昭和]52年度	事業終 (予定)	冬了 年度	了予定なし	担当課室	総務課管理室		室長 稲垣	好展
会計区分	一般的	会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	総務省	省設置法(第4	条第1項第	第87号)		関係する計画 通知等	_			
主要政策・施策	_					主要経費	その他の事項経	費		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	先の大	、戦における空	襲等により	多くの方々が亡	くなられたこと	に鑑み、一般戦	炎死没者に対して追悼	の意を表すこと。		
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	※平成	26年度まで、_	上記の事業	くいまか、 先のっ	大戦における-		追悼に関する調査や	展示会を実施。 戦災に 引査を終えたことから終		こついては、戦災
実施方法	直接到	 毛施								
				26年度		27年度	28年度	29年度	30	年度要求
		当初予	算	23		7	6	6		
		補正予	算	0		0	0	0		
	予算	前年度から	繰越し	0		0	0	0		
予算額・	の状況	翌年度へ終	操越し	0		0	0	0		
執行額 (単位:百万円)		予備費	等	0		0	0	0		
(年位:日2月1)		計		23		7	6	6		0
		執行額		22		6.4	5.7			
		執行率(%)		96%		91%	95%			
		予算+補正予算 執行額の割合		96%		91%	95%			
	<u> </u>	歳出予算目		29年度当初	予算 (30年度要求		主な増減理	曲	
		委員等旅費		6						
		職員旅費		0						
平成29·30年度 予算内訳 (単位:百万円)		庁費		0						
		計		6		0				
							l .			

			定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標年度	目標最終年年
成:	目標.	續			成果実績	-	-	-	-	-	-
(アワ	ウトカ	ム)	_	-	目標値	-	-	1	-	_	-
					達成度	%	-	_	-		_
疣計·	してF ・デー 出典)		-								
	成	果目	罪及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必	要な場合	はチェック	の上【別紙1	】に記載	チェッ	ク	
が	設定で	は目標できな		標が設定できない理由		4光 几歲				の達成状況・	実績
性的	単田が内な月標			業として実施する全国戦没者 遺族代表者数は、都道府県等 として設定することは困難。		·平成26 一般戦災		度までの間	において、全	り、一般戦災	悼式に参列す 爻死没者の慰
		と当性 するた	代替目標	代替指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標	目標最終年
めの	の代を	き的な	全国戦没者追悼式に参列	(会文化师)	実績	県	47	47	47	-	-
達月	ず目棋 実網		する一般戦災死没者の遺 族代表の推薦を全国の都	(参考指標) 依頼都道府県数	目標値	県	47	47	47	-	-
			道府県に依頼する。		達成度	%	100	100	100	-	-
	指標。動実統		活動	为指標	V7.51 - 7.64	単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見辽
	ゔゔ゚		全国戦没者追悼式等への 列者数	一般戦災死没者遺族代表参	活動実績当初見込み	\ \ \ \	195	208	183	_	_
			第 b	∃根拠	ヨ初見込み	単位	26年度	27年度	28年度		
224 £	L 412 L		ガレ	באן און ני	単位当たり	万円	3	2.9	2.9	2341	-
	立当た コスト		執行額ノ	′参列者数	計算式	執行額/参列者数	584/195	595/208	528/183		_
		施策	1. 一般戦災死没者追悼等	の事業の推進							
		施策		の事業の推進的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標	
		施策			実績値	単位 -	26年度	27年度 -	28年度		
Ž E	政策	31			実績値目標値					- 年度	- 年
£ []	政策評価					-	-	-		- 年度 - -	- 年
E .	策評	測定指	定量	的指標目標		-	-	-		- 年度	- 年
E	策評	測定指標	定量 定性的指標 一般戦災死没者の慰霊事 の実施	的指標 目標 * 一般戦災死没者の慰霊	目標値	- 目標年度	-	- 施: 没者の慰霊		- 年度 - - 元(目標) s実施	- 年
是 平 市 ・ を ・ 大 大	策評	測定指標	定量 一 定性的指標 一般戦災死没者の慰霊事	的指標目標	目標値	- 目標年度	一般戦災死	- 施: 没者の慰霊 施: 没者の慰霊 没者の慰霊		- 年度 	- 年 - - - - - - -
E	策評	測定指標	定量 定性的指標 一般戦災死没者の慰霊事 の実施	的指標 目標 ―般戦災死没者の慰霊 実な実施	目標値	日標年度	- 般戦災死 - 般戦災死 - 般戦災死 戦災死没者	- 施: 没者の慰霊 施: 没者の慰霊 遺族代表の!		- 年度 	- 年 - - - - - -
医甲盾二番片 计文字三字文	策評	測定指標	定量 定性的指標 一般戦災死没者の慰霊事の実施 《アウトプット指標》	的指標 目標 ー般戦災死没者の慰霊 実な実施 本事業の)	事業の確		- 一般戦災死 一般戦災死 一般戦災死 戦災死没者 定指標との関	- 施: 没者の慰霊・施: 没者の慰霊・ 遺族代表の対	テート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- 年度 	- 年 - - こ参列する一 Elに実施
₹ ¥ 10	策評	測定指標 政府交	定量 定性的指標 一般戦災死没者の慰霊事の実施 《アウトプット指標》	的指標 目標 一般戦災死没者の慰霊 実な実施 本事業の 等への一般戦災死没者遺族	事業の確		- 一般戦災死 一般戦災死 一般戦災死 戦災死没者 定指標との関	- 施: 没者の慰霊 施: 没者の慰霊 遺族代表の対	テート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- 年度 	- 年 - - こ参列する- Eに実施
を呼信いを与 オマネミア・バイン・アー	策評	測定指標	定量 定性的指標 一般戦災死没者の慰霊事の実施 〈アウトプット指標〉 F主催の全国戦没者追悼式 で没者等に対して追悼の意	的指標 目標 一般戦災死没者の慰霊 実な実施 本事業の呼 等への一般戦災死没者遺族を表わすことに寄与する。	事業の確		- 一般戦災死 一般戦災死 戦災死没者 定指標との関	- 施: 没者の慰霊 施: 没者の慰霊 遺族代表の対	テート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- 年度	- 年 - - こ参列する一 ミに実施 旦うことで、一
を呼信いを作り オマス・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン	策評	測定指標 政災 革	定性的指標 一般戦災死没者の慰霊事の実施 〈アウトプット指標〉 F主催の全国戦没者追悼式 で没者等に対して追悼の意	的指標 目標 一般戦災死没者の慰霊 実な実施 本事業の 等への一般戦災死没者遺族	事業の確 或果と上位 代表参列)	- 日標年度 29 立施策・測 旅費の支統	- 一般戦災死 一般戦災死 戦災死没者 定指標との限 合等により、-	- 施: 没者の慰霊 施: 没者の慰霊 遺族代表の 引係 - 般戦災死 と 28年度	- 一	- 年度	- 年
を呼びると サスチェ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	策評	測定指標 政災 革目	定性的指標 一般戦災死没者の慰霊事の実施 〈アウトプット指標〉 F主催の全国戦没者追悼式 で没者等に対して追悼の意	的指標 目標 一般戦災死没者の慰霊 実な実施 本事業の対策を表わすことに寄与する。	目標値 事業の確 成果と上位 代表参列が	日標年度 29 立施策・測 旅費の支約	ー般戦災死 一般戦災死 一般戦災死者 定指標との関 合等により、一 計画開始時 - 年度	- 施: 没者の慰霊 施: 没者の慰霊 遺族代表の 関係 - 般戦災死 28年度	一 一 一 事業の確実な 策の進捗状況 事業(全国戦 務費支給等) を者の慰霊事	- 年度 - - 元(目標) よ実施 元(実績) 没者追悼で確実 まの一助を打けて確実 中間目標度 - -<	- 年 年 年 年 - 年
を呼信へを与っては「アンドン・アンドラントントラート	策評価 アクシ	測定指標 政災 革目 KP	定性的指標 一般戦災死没者の慰霊事の実施 〈アウトプット指標〉 F主催の全国戦没者追悼式 で没者等に対して追悼の意	的指標 目標 一般戦災死没者の慰霊 実な実施 本事業の対策を表わすことに寄与する。	目標値 事業の確 或果と上位 代表参列が 成果実績 目標値	日標年度 29 立施策・測 旅費の支統 単位 -	ー般戦災死 一般戦災死者 定指標より、一 計画開始時度	- 施: 没者の慰霊 遊族代表の対 係- 般戦災死炎 28年度	まの進捗状況 事業の確実が ま業(全国戦 素費支給等) と者の慰霊事	- 年度	- 年
を呼んでを行ってするアフィー・アープラルニン目表	策評価 アクション・ 経済・財	測定指標	定性的指標 一般戦災死没者の慰霊事の実施 <アウトブット指標> F主催の全国戦没者追悼式 で没者等に対して追悼の意 分野:	的指標 目標 一般戦災死没者の慰霊 実な実施 本事業のが 等への一般戦災死没者遺族を表わすことに寄与する。 (PI 一階層)	目標値 事業の確 成果と上位 代表参列が	日標年度 29 立施策・測 旅費の支約	ー般戦災死ー般戦災死ー般戦災死没者 定指標との限 合等により、一 計画開始時	- 施: 没者の慰霊 施: 没者の慰霊 遺族代表の 関係 - 般戦災死 28年度	一 一 一 事業の確実な 策の進捗状況 事業(全国戦 務費支給等) を者の慰霊事	- 年度 - - 元(目標) よ実施 元(実績) 没者追悼で確実 大会の一助を打ける。 中間目標 - - </td <td>- 年 年 </td>	- 年 年
世平市、圣年・才女写とアフノヨノ・プコプラユニ) 関係	策評価 アクション・プロ 経済・財政再	測定指標	定性的指標 一般戦災死没者の慰霊事の実施 <アウトブット指標> F主催の全国戦没者追悼式 で没者等に対して追悼の意 分野:	対指標 目標	目標値 事業の確 或果と上位 代表参列が 成果実績 目標値		ー般戦災死 一般戦災死 戦災死没者 定指標との限 合等により、一 計画開始時 ー ー	- 施・ 没者の慰霊。 施・ 没者の慰霊。 遺族代表のが 「保 一般戦災死没	までの進捗状況 事業の確実が ま業(全国戦 素費支給等) を者の慰霊事	- 年度	- 年)
世平面、圣年・才女写巨アフィヨノ・プコブラ ユニつ目系	策評価 アクション・プログラ 経済・財政再生	測定指標 工 改項 (第一階層) (第	定性的指標 一般戦災死没者の慰霊事の実施 <アウトブット指標> F主催の全国戦没者追悼式 で没者等に対して追悼の意 分野:	的指標 目標 一般戦災死没者の慰霊 実な実施 本事業のが 等への一般戦災死没者遺族を表わすことに寄与する。 (PI 一階層)	事業の確な代表参列が成果実績直達成度		ー般戦災死 一般戦災死を 一般戦災死者 定指標との限 合等により、一 計画開年度	- 施: 没者の慰霊: 没者の慰霊: 造族代表の対 (係) - 般戦災死炎 28年度	を表の進捗状況 事業の確実が ま業(全国戦 事業(全国戦 を者の慰霊事 と者の慰霊事	- 年度 - - 元(目標) よ実施 元(実施 200 みところの 日標度 中間 - 中間 - 中間 - - - </td <td>- 年月 </td>	- 年月
D 国 系	策評価 アクション・プログ 経済・財政再生	測定指標	定性的指標 一般戦災死没者の慰霊事の実施 <アウトブット指標> F主催の全国戦没者追悼式 で没者等に対して追悼の意 分野:	的指標 目標 一般戦災死没者の慰霊 実な実施 本事業のが 等への一般戦災死没者遺族を表わすことに寄与する。 (PI 一階層)	目標値 事業の確 或果と上位 成果実値 達成度 成果実績		ー般戦災死 一般戦災死没の 一般戦災死没の を 管により、一 計画開年 ー ー 計画開年度	- 施: 没者の慰霊: 没者の慰霊: 造族代表の対 (係) - 般戦災死炎 28年度	を表の進捗状況 事業の確実が ま業(全国戦 事業(全国戦 を者の慰霊事 と者の慰霊事	- 年度 - - 元(目標) よ実施 元(実施 200 みところの 日標度 中間 - 中間 - 中間 - - - </td <td>- C参列する一 E標最終年 - 年月 - 日標最終年 - 年月</td>	- C参列する一 E標最終年 - 年月 - 日標最終年 - 年月

				事業	所管部局による点検	è・改善					
			項	目		評価		評価に関する説	明		
	事業の目的	は国民や社会のニース	ズを的確に	こ反映しているか。		0					
	地方自治体	、民間等に委ねること	ができなし	ゝ事業なのか。		-	·全国戦没者追悼	■式に全国から遺族イ	弋表を国費により参列		
性入の	政策目的の 事業か。	達成手段として必要か	つ適切な	事業か。政策体系の	の中で優先度の高い	-	C C O II VIIIIMA	CAC C BEI OVI C TO SE VI	200 07200		
		保されているなど支出	先の選定	は妥当か。		-					
		競争契約、指名競争契 礼又は一者応募となっ			による支出のうち、一	無					
	競争怕	生のない随意契約とな	ったものに	はないか。		無					
事業	受益者との	負担関係は妥当である	か。			-					
の	単位当たり	コスト等の水準は妥当だ	か。			-					
	資金の流れ	の中間段階での支出し	ま合理的な	なものとなっているた	ېر _°	-					
性	費目・使途だ	が事業目的に即し真に	必要なもの	のに限定されている	か。	0					
	不用率が大	きい場合、その理由は	妥当か。	(理由を右に記載)		-					
	繰越額が大	きい場合、その理由は	妥当か。	(理由を右に記載)		-					
	その他コスト	-削減や効率化に向け	た工夫は	行われているか。		-					
事	成果実績は	成果目標に見合ったも	のとなっ	ているか。		-					
業		当たって他の手段・方: 低コストで実施できてい		えられる場合、それ	と比較してより効果	-					
有		見込みに見合ったもの		0		_					
性		施設や成果物は十分に				_					
		業がある場合、他部局			を行っているか。(役						
		体的な内容を各事業の									
事業	所管府省名	事業番号		事	業名		_				
		-	_								
点検	点検結果	·一般戦災死没者遺加 ·一般戦災死没者遺加	族代表参 多	列旅費の支給等はP	円滑に実施されている。	0					
改											
善結	改善の	飢₩巛玩沙耂/-⇒	+1 テ泊起	の音をませため _	_ 飢獣巛 花込 老の尉録	● ** * * * *	7144年1712年1	t . 			
果	方向性	- 版载及免及省区	りして追悼	の息で衣りため、	一般我处死,友有仍您显	をサポでつ	10例6日月15天川	≝ 9′⊘₀			
					外部有識者の所見	ļ					
	ı			行政事	業レビュー推進チー.	ムの所見	.				
	1			所見を踏まえた	改善点/概算要求に	こおける」					
				77775274047676			~~~~				
					備考						
				関連するi	過去のレビューシートの	の事業番	· 号				
平	 成22年度	152		平成23年度	152		平成24年度	145			
平	成25年度	145		平成26年度	143		平成27年度	140			
平	成28年度	136									



支出先上位10者リスト

A.一般戦災遺族

	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	旅費	0.1	その他	-	-	-
2	個人B	-	旅費	0.1	その他	-	-	-
3	個人C	-	旅費	0.1	その他	1	-	-
4	個人D	-	旅費	0.1	その他	1	-	-
5	個人E	-	旅費	0.1	その他	-	-	-
6	個人F	-	旅費	0.1	その他	-	-	-
7	個人G	-	旅費	0.1	その他	-	-	-
8	個人H	-	旅費	0.1	その他	-	-	-
9	個人I	-	旅費	0.1	その他	-	-	-
10	個人J	-	旅費	0.1	その他	-	-	-

B.常勤職員

	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数(応募者数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	職員旅費	0.1	その他	-	-	-
2	個人B	-	職員旅費	0.1	その他	-	-	-
3	個人C	-	職員旅費	0.1	その他	-	-	-
4	個人D	-	職員旅費	0	その他		ı	-
5	個人E	ı	職員旅費	0	その他		I	-
6	個人F	-	職員旅費	0	その他		-	-
7	個人G	-	職員旅費	0	その他	-	-	-
8	個人H	-	職員旅費	0	その他	_	-	-

C.民間会社

	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)京樽	5010001040923	弁当代	0	随意契約 (少額)	ı		_
	支出先上位10	者リスト欄について	さらに記載が必要な場合は	チェックの上	【別紙3】に記載		チェック	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック 名	契 約 先	法 人 番 号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		_	-	-	-	·	-	-	-

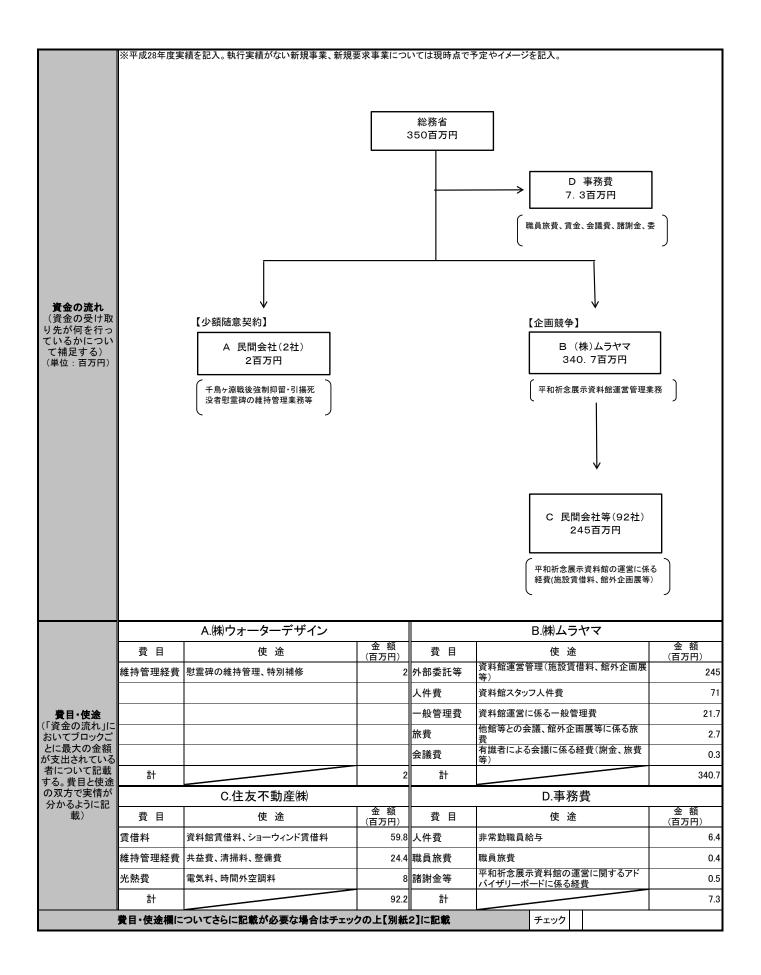
事業番号

0141

							● 未番号	0141
			平成29年度	行政事業レ	゚゙ビュ-	ーシート(総矛	答省)
事業名	平和祈	念展示等経費		担当i	部局庁	大臣官房		作成責任者
事業開始年度	平月	t22年度 專	業終了 定) 年度 終了予定	なし 担当	課室	総務課管理室		室長 稲垣 好展
会計区分	一般到	会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	・独立		項第96号) 事業特別基金等に関す 則第2条の2第2項)	る法律 関係する 通知	る計画、 知等	-		
主要政策・施策	-			主要	経費	その他の事項経費	Ì	
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)			業特別基金から引き継し					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	旧独立	₹ 花行歧法人平和祈念事	業特別基金から引き継し	かた資料の整理、{	米管及びデ	古用を行つ。		
実施方法	委託•	請負						
			26年度	27年度		28年度	29年度	30年度要求
		当初予算	370	356		353	356	
		補正予算	0	0		0	0	
	予算	前年度から繰越し	0	0		0	0	
予算額・	の状況	翌年度へ繰越し	0	0		0	0	
執行額 (単位:百万円)		予備費等	0	0		0	0	
(40.0711)		計	370	356		353	356	0
		執行額	364	352		350		
		執行率(%)	98%	99%		99%		
		予算+補正予算に対す 執行額の割合(%)	98%	99%		99%		
	W 1	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要	求		主な増減理	#
	平	和祈念事業委託費	344					
		庁費	10					
平成29·30年度 予算内訳		職員旅費	1					
(単位:百万円)		諸謝金	1					
		委員等旅費	0					
		計	356	0				
			-	•				

			定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標	目標最終年月
	目標。果実				成果実績	-	-	-	-	- 一	一 一
	ウトカ		-	_	目標値	-	-	-	-	-	-
					達成度	%	-	-	-	-	-
統計	して月 ・デー 出典)		_								
	成	果目	限及び成果実績(アウトカム	欄についてさらに記載が必	要な場合	はチェック	7の上【別紙1	】に記載	チェ	ック	
			定量的な目	標が設定できない理由			定性的な	成果目標と	26~28年度	の達成状況・	実績
に対	設定で	目標できないでは、 できなで定 は果目	旧独立行政法人平和祈念 整理、保管及び活用が事業 量的な目標を設定することに	事業特別基金から引き継いだ 目的であり、これらを総合的 は困難であるため。	資料の に示す定	者及び引き継い を深める ・平成26 討を進め	揚者の方々 いでいくための 機会を提供で 年度から28年	の労苦に関う総合的な目がるための効 するための効 すとの間、所 常設展示のに	する貴重な所録の作成、当 録の作成、当 果的な展示 蔵資料の総で まか、企画展	「蔵資料を後の は該労苦につい 等の実施。 合的な目録の 及び地方巡回	、戦後強制抑の世代に確実にいて国民の理 いて国民の理 作成に向けた 国展等を実施し
		当性	代替目標	代替指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年
850	検証す の代を	的な	平和祈念展示資料館の来		実績	人	44,147	51,265	52,107	_	-
達月	或目模 実網		館者数を4.2万人とすること (平成29年度)	平和祈念展示資料館の来 館者数	目標値	人	40,000	50,000	50,000	-	-
					達成度	%	110.4	102.5	104.2	-	-
活動	指標。	及び	活動	指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	動実		平和祈念展示資料館の来館	京 老物	活動実績	人	44,147	51,265	52,107	-	-
			11日/7/区/区/八月17日07/1日17日07/1日17日17日17日17日17日17日17日17日17日17日17日17日17		当初見込み	人	40,000	50,000	50,000	42,000	50,000
14	立当た	-63	· · ·	は根拠 日か事業日的であり、その事		単位	26年度	27年度	28年度	29年月	度活動見込
	コスト	.9	業の一部である平和祈念展	は、すべらいとの人とのす と示資料館の来館者数をもっ ストを測ることは適当ではな		-	-	-	-		_
_				/」で別ることは回当ではな /	計算式	-	_	-	_		-
			Ⅷ. 国民生活と安心・安全	o=#o##							
		肥束	1. 一般戦災死没者追悼等							中間目標	目標年度
		Σ		的指標 		単位	26年度	27年度	28年度	- 年度	- 年度
			平和祈念展示資料館の来館 <アウトプット指標>		実績値	人	44,147	51,265	52,107	-	-
			※平成26年度は、常設展示 考慮し、目標値を下げた。	けニューアルに伴う閉館期間を	目標値	人	40,000	50,000	50,000	-	-
_		測	定性的指標	目標		目標年度	Ę	施	策の進捗状況	兄(目標)	
政策	政策評	定指					・平成26年原 定	度:所蔵資料	の総合的な目	目録の作成に	向けた方針の
評価	評価	標						度:26年度に5 載する項目を		†を踏まえ、所	蔵資料の総合
経			所蔵資料の総合的な目録の 所蔵資料の総合的な目録の) 所蔵資料の総合的な目	緑の字成	平成28		度:所蔵資料	の総合的な目		
済			作成<アウトプット指標> 	川成長作の心口口で口	以のプロス	年度	- 亚弗26年月		策の進捗状況の総合的なほ		向けた方針(2
財 政							年度までの	計画)の策定			
再 生								度:所蔵負料:			る項目を決定
アク		IEVI -					定指標との	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		- 4. =c ++ 'Az Jul -	-
ショ ン		実に引		別基金から引き継いだ兵士、 委託により平和祈念展示資料							
・ プ ロ		改革 項目	分野: -								
グー		(第2	KPI (第一階層)			単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年月
ラー	ア	— ^ P			成果実績	-	_	-	-	_	_
ラムと	7		_		目標値	-	-	-	-	-	-
ラムとの関	クシ経	層 '		達成度	%	-	-	-	-	-	
ラムとの関係	シ経 コア・	/#								中間目標	目標最終年
ラムとの関係	ション・プロ経済・財政再	(PI 階層)		単位	計画開始時	28年度	29年度	- 年度	
ラムとの関係	ション・プ経済・財政	(第二階			成果実績	単位 -		28年度 - -	29年度	- 年度	
ラムとの関係	ション・プログ経済・財政再生	僧) (第二階層) KPI			成果実績目標値		- 年度			一一人	- 年度
ラムとの関係	ション・プログラ経済・財政再生	(第二階)				-	- 年度	-	-	-	- 4 -

	事業所管部局による点検・改善事業所管部局による点検・改善										
			項目		評価	評価に関する説明					
国費投入	事業の目的)は国民や社会のニース	ぎめ確に反映しているか。		0	・旧独立行政法人平和祈念事業特別基金から承継した労 に関する資料の展示を国において引き続き行うことが求め れており、貴重な所蔵資料を後の世代に確実に引き継い いく必要があるため。	6				
	地方自治体	、民間等に委ねることが 達成手段として必要か	ができない事業なのか。 つ適切な事業か。政策体系の「	中で優先度の高い	-						
	競争性が確	保されているなど支出	先の選定は妥当か。		0						
	者応	札又は一者応募となった		よる支出のうち、一	無 ———無	・資料館運営管理業務に係る業者選定及び評価は、有識会議(平和祈念展示資料館の運営に関するアドバイザリーボード)での評価を経たもの。					
	競争性のない随意契約となったものはないか。										
事業		負担関係は妥当である			-						
の効	単位当たり:	コスト等の水準は妥当が),°		-						
率性	資金の流れ	の中間段階での支出は	は合理的なものとなっているか。		0	同上					
i.T.	費目・使途が	が事業目的に即し真に娘	必要なものに限定されているか	0	0	同上					
	不用率が大	きい場合、その理由は	妥当か。(理由を右に記載)		-						
	繰越額が大	きい場合、その理由は	妥当か。(理由を右に記載)		-						
	その他コスト	ト削減や効率化に向けた	と工夫は行われているか。		0	同上					
事業の	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。					・展示会等については、平成22年10月より旧独立行政法、 平和祈念事業特別基金から資料を引き継ぎ実施している 常設展示施設の運営の他、様々な視点で企画した特別企 展(3回)、夏休み等の長期休暇期間には映画会等の特別・ ベントを実施。来館者数は50,000人の見込みに対し、52,10 人の実績であった。	。 :画 イ				
有効			去等が考えられる場合、それと! スカ	比較してより効果	-						
性	的あるいは低コストで実施できているか。			0	同上						
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				0	日工					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				-						
関連	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-							
事業	所管府省名	事業番号	事業	名							
点検・改	点検結果	旧独立行政法人平和4 についても当初見込み	折念事業特別基金から引き継い ↓人数を達成している。	いだ資料について、	適切に保	管及び活用を行っており、平和祈念展示資料館の来館者数	汝				
善結果	改善の 方向性	平和祈念展示資料館の	の来館者数について、展示方法	去及び広報の工夫等	を行い、	来館者数5万人を達成することに努める。					
			9	ト部有識者の所見	,						
			行政事業!	レビュー推進チー	ムの所見	1					
			所見を踏まえた改	(善点/概算要求に	おける	反映状況					
	·			備考							
			関連する過去	去のレビューシートの	の事業番	号					
平	成22年度	-	平成23年度 15	5		平成24年度 148	7				
平	成25年度	147	平成26年度 14	-6		平成27年度 142	/				
平	成28年度	137					<u> </u>				



支出先上位10者リスト

Α

	支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)ウォーターデザイ ン	2010401003433	千鳥ヶ淵戦後強制抑留・引 揚死没者慰霊碑の維持管 理業務	1	随意契約 (少額)	-	-	-
2	(株)ウォーターデザイ ン	2010401003433	千鳥ヶ淵戦後強制抑留・引 揚死没者慰霊碑の特別補 修作業	1	随意契約 (少額)	-	-	-

В

	支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)ムラヤマ		平和祈念展示資料館運営 管理業務	340.7	随意契約 (その他)	_	-	-

С

	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	住友不動産㈱	8011101010739	平和祈念展示資料館の入 居ビルの賃借料等	92	随意契約 (その他)	-	-	-
2	(株)ムラック	8040001076854	地方展の会場設営及び運 営業務	23	随意契約 (その他)	-	-	-
3	(株)ケーズ・クルー	6011101037296	平和祈念展示資料館アテンダント業務等	17	随意契約 (その他)	-	-	-
4	カトーレック(株)	3010601029525	資料保管倉庫の賃借及び 資料の運搬等	14	随意契約 (その他)	-	-	-
5	㈱電通東日本	1010401050996	広報プロモーション業務	10	随意契約 (その他)	-	-	_
6	㈱東宝エージェン シー	8013301008505	平和祈念展示資料館内の 警備保安業務	6	随意契約 (その他)	-	-	-
7	光村印刷(株)	4010701009442	広報ポスター等の印刷等	6	随意契約 (その他)	-	-	-
	(株)オフィス・ミット	3011201004372	特別イベントの運営業務	5	随意契約 (その他)	-	-	-
9	(株)スタンダード通信 社	3010401081916	鉄道交通広告等の広報業 務	4	随意契約 (その他)	_	-	_
10	(株)ゴトー工芸	1011301017417	展示設備(ジオラマ等)の 交換、修理等	4	随意契約 (その他)	_	_	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック 名	契 約 先	法 人 番 号	業務概要	契約額(百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		_	ı	_	-	_	-	-	-